

八王子市

基礎情報

【人口】577,513人 【世帯】253,356世帯（平成27年国勢調査より（総務省））

【母子・父子世帯数】

母子・父子世帯数 5,629世帯（母子世帯 4,904世帯、父子世帯 725世帯）

（平成22年 八王子市資料より）

概要

- 子どもの学習支援では、生活困窮者自立支援制度の学習支援事業と連携し、生活保護受給世帯と児童扶養手当の全部支給の家庭の中学生を対象として、市内の8箇所にて無料の「学習支援教室」を開講している。
- 「学習支援教室」に加えて、ひとり親家庭等生活向上事業の子どもの生活・学習支援事業を利用して2つの取組を実施している。一方は、平成28年度から開始した学習支援教室に通うことが困難な中学3年生に家庭教師派遣を行う取組「ゆめ★はち先生」である。他方は、小学5・6年生を対象に、体験事業、学習支援、ボランティアによる食事提供などを行う「なんでもチャレンジ」である。
- ひとり親家庭に対する就業支援と学習支援は、ひとり親家庭の支援を所管している子ども家庭部と生活困窮者自立支援制度の各支援を所管している福祉部が連携して担当している。両部は支援全般については「生活困窮者自立支援ネットワーク会議」、就業支援については「稼働能力・評価等判定会議」、学習支援については「子どもの健全育成支援調整会議」を開催することでの情報を共有し、きめ細かな対応を行っている。

【ひとり親家庭への支援施策】

八王子市では、「八王子市子ども育成計画」において基本施策の一つとして、「ひとり親家庭への支援の充実」を掲げ、「就業・自立支援の充実」「生活・経済的支援の充実」「子どもへの支援の充実」「相談・情報提供の充実」の4つの施策を展開している。

【体制】

八王子市子ども家庭部子育て支援課では、母子・父子自立支援担当を7名配置し、ひとり親家庭の自立支援を行っている。うち4名は、母子・父子自立支援員（嘱託職員3名、行政職員1名）であり、嘱託職員の3名は週に4日、勤務時間は8:30～17:00である。

また、福祉部生活自立支援課では、支援担当を6名配置し、生活保護受給世帯と生活困窮者自立支援制度の対象である生活困窮世帯の子どもの健全育成支援を行っている。担当6名のうち、2名は行政職員であり、他4名は社会福祉士や教員免許を保有する子ども健全育成支援員（嘱託職員4名）である。4名の子ども健全育成支援員は、週4日、8:30～19:00までのうち7.5時間と勤務している。

子ども家庭部子育て支援課ではひとり親家庭の自立支援のほか、児童手当等の支給、子どもの医療費助成等を行い、福祉部生活自立支援課では生活困窮者への支援全般を行っている。

（1）就労アシスト八王子の開設

就業支援事業の一環として西八王子駅近くに「就労アシスト八王子」を平成27年度から開設している。キャリアカウンセラーによるカウンセリングから求人開拓、仕事に就いてから3か月後までの定着支援を行っている。支援体制としては、統括兼キャリアカウンセラー1名、キャリアカウンセラー4名（うち1名がひとり親家庭を専門に担当）、求人開拓員が2名の7名体制である。

担当部署は、生活困窮者自立支援制度の就労支援とひとり親家庭の就業支援施策が重なっていることから、開設当初から福祉部と子ども家庭部の協働で支援を実施している。

①民間への委託

実施体制としては、株式会社パソナに事業委託している。就業支援に関するノウハウが豊富、かつ求人開拓を積極的に実施できる専門のキャリアコンサルタントを配置するため、外部の専門機関の活用をすることになった。公募型プロポーザル方式で事業者の募集を行い、1次審査で4社から3社に絞り、3社によるプレゼンの結果、株式会社パソナへの委託が決定した。

②府内の体制

委託先との契約は、福祉部生活自立支援課が担当している。

予算確保は、福祉部と子ども家庭部がそれぞれ行い、子ども家庭部が福祉部に執行を委任している。予算要求の際は、他市でのモデルケースを参考にし、対象者数予想と過去の実績人数をもとに行った。

なお、就労アシスト八王子とハローワークとの関係では、就労に向けた準備ができる場合は主にハローワークへ、それ以外の場合は就労アシスト八王子につなげることが多い。

就労アシスト八王子について

八王子市受託事業「母子家庭等就労・自立支援センター事業（就労アシスト八王子）」
(本事業は株式会社パナソニックキャリアカンパニーが八王子市より委託を受けています)

ひとり親家庭のお母さん・お父さんの
「働きたい」をサポートします！
就労アシスト八王子のご案内

就労アシスト八王子は、仕事探しから就職まで、
また就職してから定着まで、あなたのサポートをします。
希望に沿ったお仕事が見つかるよう、
一緒に進んでいきます。気軽にお問い合わせください。

◆私たちの“仕事さがし”の進め方◆

1. “今の気持ち”を大切にします。
・働くうで心と体に心配事はありますか？
・スタッフにじっくり話ををお聞きします。
2. 履歴書を一緒に作成します。
・スタッフが丁寧に話を聞いてください。
あなたに合った履歴書の作成をお手伝いします。
3. あなたに合う求人をみつけ、提示します。
・これまでの経験や強みを活かせる求人に応募しましょう。
・面接の日時の段取りは私たちがします。
4. 就労アシスト八王子の求人で応募の場合、
希望される方には面接に同行しサポートします。
・人前で話すのが苦手な人でも、安心して面接へ向かえます。
一緒に就職決定を勝ち取りましょう。
5. 就労アシスト八王子の求人で応募の場合、
希望される方には初出社の日も同行し、見送ります。
・初出社の前日は誰でも緊張します。でも一緒にやってくれる
人がいると思うと安心でき、余裕ができます。
6. 就職後も悩み相談をお受けします。
・久しぶりの仕事、職場の雰囲気、そして両親との会話など、慣れるまでは不安なことが多いこと
でしょう。ちょっと疲れたなあ…と思ったとき、電話での相談をお受けし、あなたの心に応えます。

就労アシスト八王子

受託事業者 株式会社パナソニックキャリアカンパニー 

仕事探しから就職まで、また就職してから定着まで、
あなたを応援していきます。

こんなご相談をいただきました。
あなたにも心当たりはありませんか？

【例】
・「フランクが長いし、何も荷物も無いし、就職なんて難しいでは・・・
・「面接したい」という気持ちあれば、大丈夫！
あなたに合った仕事を一緒に探していくましょ！

【例】
・「子供が小さいので勤務時間が限られるけど、そんな仕事あるのかなあ・・・
・お迎えの時間等でできる仕事を一緒にさがしましょ。
求人開拓を活用して、希望に近い条件を企業と交渉することもできます。

【例】
・体調面が不安です・・・
・カウンセラーにご自身の体の状態をお話ください。今あなたの体調に合った新たな働き方と一緒に見つけましょう。

就職が決定した方の声

★ 稽古書・履歴書経験書の作成を手伝ってもらえたおかげで、しっかりした履歴書類を作ることができ、スピード一新の就職活動ができました。（事務職／嘱託職員）

★ 就労アシストの求人条件で面接したので、面接同行をしてもうことができ、とてももう強かったです。ありがとうございました。（クリーニング業／正社員）

★ 不安な気持ちや悩みを親身に聞いてもらえたので、次に踏み出す勇気が出ました。
支援を受けて良かったです。（介護職／契約社員）

相談してみるいろいろな方法がみつかります。ぜひご利用ください。
申し込み・お問合せは、子育て支援課の母子・父子自立支援課まで

八王子市子ども家庭部子育て支援課

住所：〒192-8501
八王子市元本郷町三丁目24番1号
八王子市役所 4階

電話：042-620-7362
FAX：042-621-2711（平日8:30～17:00）



出典) 八王子市資料

（2）民間の学習塾へ委託し、家庭教師を派遣

①「学習支援教室」と「家庭教師派遣」の概要

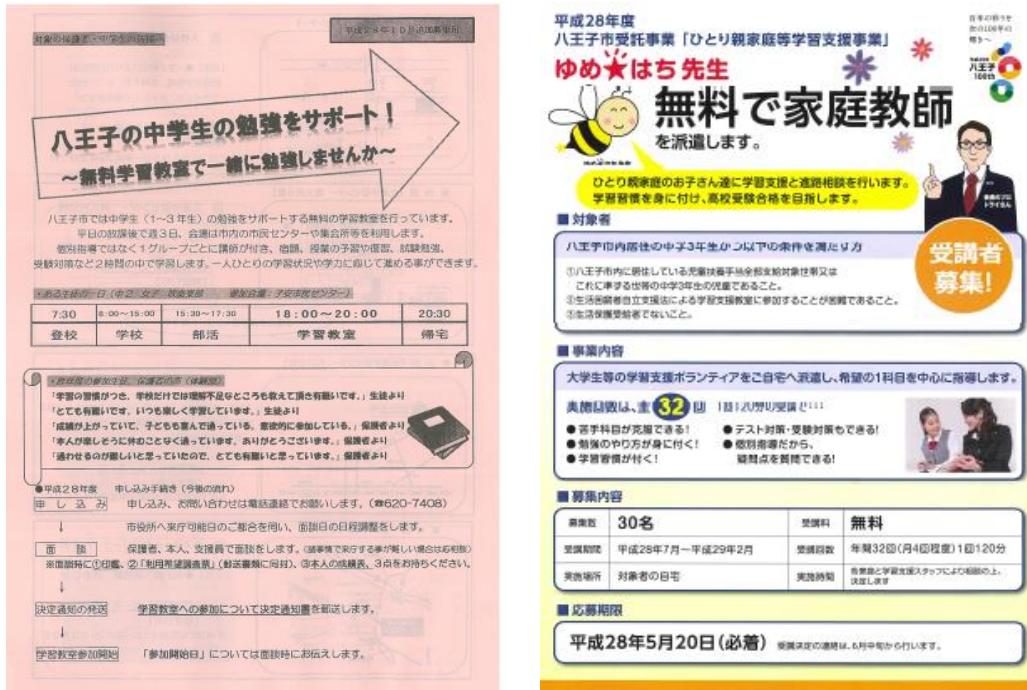
八王子市では、生活困窮者自立支援制度の学習支援事業と連携し、生活保護受給世帯と児童扶養手当の全部支給の家庭の中学生を対象として、市内の8箇所にて無料の「学習支援教室」を開講している。また、ひとり親家庭等生活向上事業の子どもの生活・学習支援事業を利用して、平成28年度から開始した学習支援教室に通うことが困難な中学3年生に家庭教師派遣を行う取組「ゆめ★はち先生」である。詳細は以下のとおりである。

「学習支援教室」と「家庭教師派遣」について

項目	内容	問合せ先
学習支援教室 (はち☆スタ)	生活保護受給世帯と児童扶養手当全部支給世帯の中学生を対象に、市内8か所の会場で、中学校での学習内容の確認から高校入試までの勉強をサポート。一人ひとりの学力に応じて学習を進める。年度当初に募集。費用負担はなし。	福祉部 生活自立支援課
家庭教師派遣 (ゆめ★はち先生)	児童扶養手当全部支給世帯で、学習支援教室に通うことが困難な中学3年生を対象に、大学生等の学習支援ボランティアをご自宅に派遣し希望の1科目を中心に指導。年度当初に募集。費用負担はなし。	子ども家庭部 子育て支援課

出典) 八王子市ヒアリングより作成

「学習支援教室」と「家庭教師派遣」広報のためのチラシ



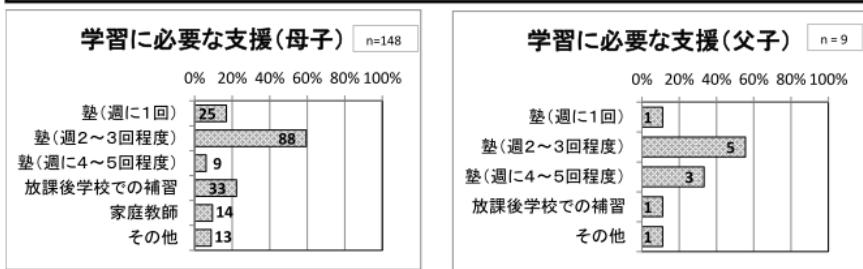
出典) 八王子市資料

なお、「家庭教師派遣」については、平成26年1月に実施したアンケートの中で、ひとり親家庭の父母は学習塾型の学習の必要性を感じているものの、夜も働いているため子どもの送迎ができないなどの事情があることがわかった。その他にも、塾等の集団生活が苦手な子どもでも学習の機会がほしいというニーズもあり、平成28年7月から事業を開始した。

学習支援についてのニーズの状況

④ 学習についての支援について(小学4年生～中学3年生)

母子父子家庭ともに週2～3日程度の学習塾型の学習が必要だと感じています。



出典) 八王子市資料

②「学習支援教室（はち☆スタ）」の拡充

生活困窮者自立支援制度の生活困窮世帯の子どもの学習支援として、「学習支援教室（はち☆スタ）」を実施している。対象者は生活保護受給世帯及び児童扶養手当全部受給世帯の中学1年から3年生である。

「学習支援教室（はち☆スタ）」は、平成22年開設当初は、生活保護受給世帯を対象として市内2か所に設置した。

平成27年度に施行された生活困窮者自立支援法と、ひとり親家庭向けの子どもの学習支援とは事業内容が重複することから、府内で調整した結果、学習支援教室の運営については福祉部による実施とし、対象者にひとり親家庭の児童扶養手当全部受給世帯を含めるよう事業を拡大した。

実施体制は、「合同会社都市教育研究所」に委託している（指名競争入札による単年度契約）。実施会場は、市内8会場（9教室）で、主に市民センター等市の施設を使用している。1教室の定員は生徒15～20人、週3回実施（年間100回）、各教室に講師3名を配置している。科目は、国語・数学・英語を中心としている。運営にあたっては、子ども健全育成支援員も協力している。

学習支援の実績では、昨年参加者の中学生35名は全員が進学している。通っている児童からは、「学習の習慣がつき、学校だけでは理解不足なところも教えていただき有難い。」、保護者からは「本人が楽しそうに休むことなく通っています。ありがとうございます。」という声の他、社会性が身についたなど学力の向上以外の部分でもメリットを感じている声があった。

②家庭教師派遣（ゆめ★はち先生）の開始

ひとり親家庭のうち、仕事が忙しくて子どもの塾の送迎ができない父母や、子どものクラブの活動等で塾の時間が合わない、集団生活が苦手で参加できない等、「学習支援教室」に通うことが困難な中学3年生に対し、基礎学力および学習意欲向上の促進、高校進学を

目的として、平成 28 年度より「家庭教師派遣（ゆめ★はち先生）」を開始した。児童扶養手当全部受給世帯の中學 3 年生を対象者として募集定員は 30 名で、28 名からの応募があった。募集に関しては、児童扶養手当全部受給世帯のデータを用いて、全世帯へダイレクトメールを送付し周知を行った。

受講回数は年間 32 回（月 4 回程度）、1 回 120 分である。事業の運営は、家庭教師のトライに委託を行っている（指名競争入札による単年度契約）。円滑に事業を実施できるよう、子どもと同性の講師（男子であれば男性の講師、女子であれば女性の講師）を派遣すること、派遣の際に実際に派遣される講師以外にマッチング等の業務を担当できる職員を委託先内に配置することを委託先の要件としている。また円滑に事業を実施するため、講師派遣後も、委託先にて生徒と先生の適性を確認している。

事業開始後、3 か月が経過したところで家庭教師派遣の効果や課題を確認するために、事業を利用しているひとり親家庭にヒアリングを実施したところ、父母から「子どもが机に向かう時間が多くなった」、「家庭教師の先生と会うことで勉強以外の相談にのってもらえている」、「勉強をするようになり成績があがった」という声が多数あった。

また、「家庭教師派遣（ゆめ★はち先生）」の講師である大学生が通う大学の文化祭に、生徒である子どもたちが参加した。大学を訪れることで刺激を受け、生徒たちにとって学びの大切さや将来について考えるよい機会となった。

（3）ひとり親家庭の子どもの生活力向上事業「なんでもチャレンジ」の開催

ひとり親家庭等生活向上事業の子どもの生活・学習支援事業を利用し、子ども家庭部子育て支援課では、ひとり親家庭の小学 5、6 年生（各回 20 人）を対象に、年 5 回、日曜日に家庭での学習習慣の定着や生活力の向上を目指すイベント「なんでもチャレンジ」を開催。子どもたちの居場所である市立児童館において、児童館の職員と一緒に子どもが楽しめる体験事業や学習支援を行っている。

11 月開催の「アウトドアクッキング！」では、参加費用 300 円で、4 グループに分かれて 30 分で献立を作成。その後、子どもたちには金銭感覚を身に着けてもらうことを目的として、1 グループ 2~3,000 円の予算で近所のスーパーで食材を購入し、生活能力の向上を目的として、1 時間でやきそばやフルーツポンチなどの料理を作り、みんなで楽しく食事を行った。午後からは、学習意欲の向上のきっかけづくりを目的とし、国語、英語、算数の学習支援を行った。

年 5 回ではあるが、子どもたちには非常に好評であり、楽しみにしてもらっているイベントである。

「なんでもチャレンジ」について

出典) 八王子市資料

（4）庁内の関連部署との連携

学習支援および就労支援に関しては、福祉部と子ども家庭部で連携して支援事業を行っていくために、平成27年度から事業ごとに月一回会議を開催している。出席者は福祉部生活自立支援課と子ども家庭部子育て支援課で、就労支援については「稼働能力・評価等判定会議」を、学習支援については「子どもの健全育成支援調整会議」を開催し、就労支援員、子ども健全育成支援員がそれぞれ参加し、母子・父子自立支援員は両会議に出席している。

会議では、相談に訪れているひとり親家庭のケースの共有から、現状の窓口への相談者数やその相談内容等について、情報共有を行っている。学習支援に関しては、「学習支援教室（はち☆スタ）」になかなか通えない子どものケースの共有も行っており、会議での検討の結果、「家庭教師派遣（ゆめ★はち先生）」をすすめることで、利用者のニーズにあった支援を行うことができた。

複数の事業を複数の課で実施するため、日頃からの密な連携を行い、事業全体から個別のケース共有までを関係者が揃って検討できる貴重な機会となっている。

以上